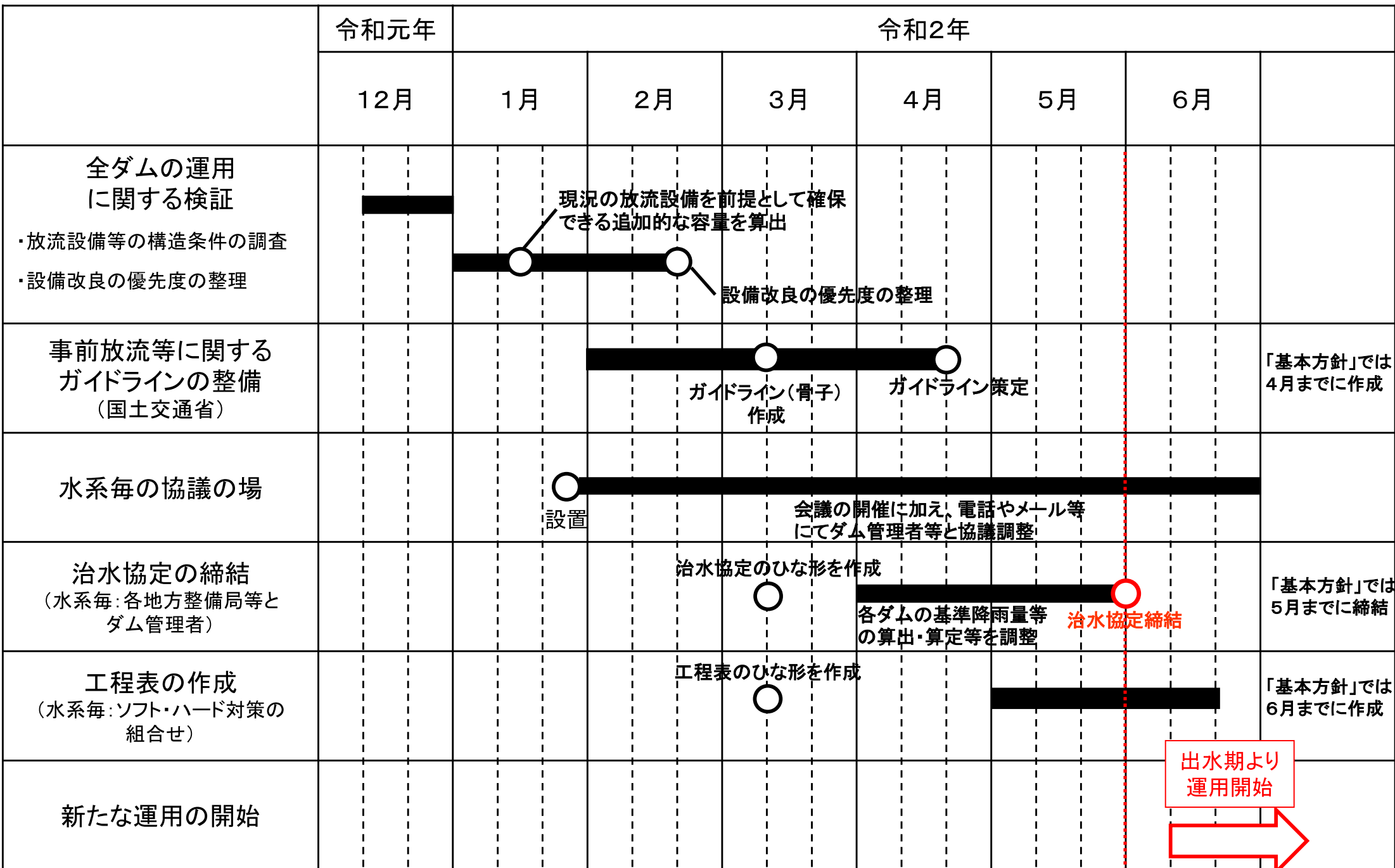


# 既存ダムの洪水調節機能強化について

## 治水協定締結の進捗状況

令和2年6月4日

# 既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた検討スケジュール



# 1級水系における治水協定の締結状況

■ 1級水系109水系のうち、ダムのある全99水系において治水協定に合意済み。

■ これにより、1級水系全体としては、水害対策に使える容量の割合が、これまでの約3割 [46億 $m^3$ ]から約6割 [91億 $m^3$ ](+45億 $m^3$ )へ倍増する見込み。

※なお、1級水系において、ダムが存在しない水系(10水系)があることや、各水系によりダムの数や大きさ(有効貯水容量)も異なるため、全ての水系で水害対策に使える容量が一樣(同程度)に増加するものではない。また水系内でも、その支川ごとにダムの所在に偏りがあることに留意。

※例えば、ハツ場ダムの有効貯水容量は0.9億 $m^3$

■ 将来的な容量の更なる拡大等に向けて、6月に工程表を策定。

# 鳴瀬川水系の治水協定締結について

- 5月29日(金)に治水協定を締結済み
- 鳴瀬川水系では、水害対策のために使える容量の割合がそれまでの37.9%から、締結後に72.5%へと向上

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針に基づく「協議の場」

【構成員】

○河川管理者

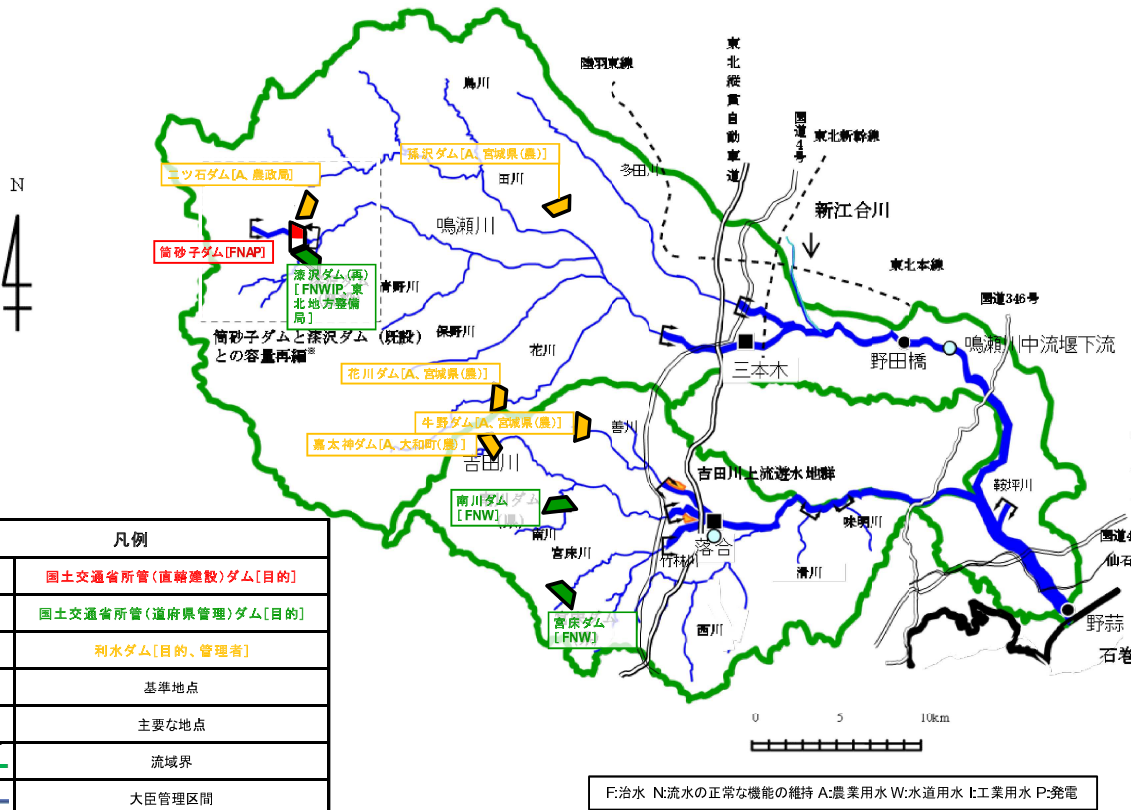
- ・国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所
- ・宮城県土木部

○ダム管理者

- ・農林水産省東北農政局北上土地改良調査管理事務所
- ・宮城県土木部
- ・宮城県農政部
- ・宮城県北部地方振興事務所
- ・宮城県仙台地方振興事務所
- ・色麻町外1市1ヶ村花川ダム管理組合
- ・大衡村外1町牛野ダム管理組合
- ・鳴瀬川沿岸土地改良区
- ・吉田川流域溜池大和町外3市3ヶ町村組合

○関係利水者

- ・吉田川水系利水委員会
- ・宮城県公営企業
- ・松島町水道事業
- ・東北電力株式会社宮城発電技術センター
- ・仙台市水道事業



ダム名	有効貯水容量 (千m3)	洪水調節容量		洪水調節可能容量		水害対策に使える容量に対する割合	基準降雨量 (mm)
		容量 (千m3)	有効貯水容量に対する割合	容量 (千m3)	有効貯水容量に対する割合		
●漆沢	16,000	9,500	59.4%	6,500	40.6%	100.0%	171
●南川	9,200	4,400	47.8%	3,370	36.6%	84.5%	134
●宮床	5,000	2,000	40.0%	1,130	22.6%	62.6%	145
○二ツ石	9,700	0	0.0%	1,540	15.9%	15.9%	131
○孫沢	685	0	0.0%	685	100.0%	100.0%	150
○花川	180	0	0.0%	80	44.4%	44.4%	191
○嘉太神	719	0	0.0%	719	100.0%	100.0%	143
○牛野	500	0	0.0%	500	100.0%	100.0%	144
合計	41,984	15,900	37.9%	14,524	34.6%	72.5%	-

○水害対策に使える容量(8ダム) ※●:多目的ダム、○:利水ダム

締結前37.9% ⇒ 締結後72.5%  
(約1,450万m3の増加)※

※容量としてはハツ場ダム0.2個分に相当

# 多摩川水系の治水協定締結について

- 5月27日(水)に治水協定を締結済み
- 多摩川水系では、水害対策のために使える容量の割合がそれまでの0%から、締結後に19.2%へと向上

## 既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針に基づく多摩川水系 協議会

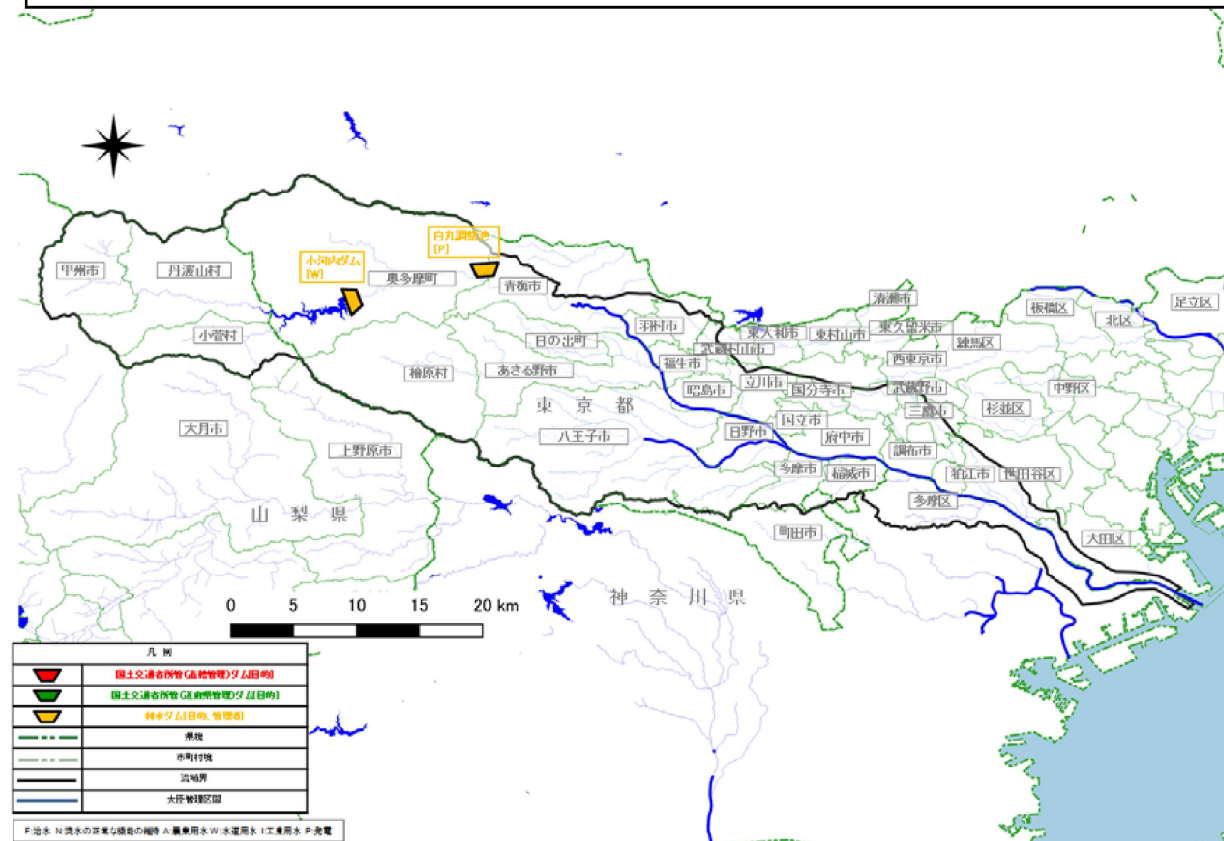
### 【構成員】

#### ○河川管理者

- ・国土交通省関東地方整備局河川部
- ・国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所
- ・東京都建設局河川部計画課
- ・神奈川県県土整備局河川下水道部河川課

#### ○ダム管理者

- ・東京都水道局浄水部浄水課(小河内ダム)
- ・東京都交通局車両電気部管理課(白丸調整池)



ダム名	有効貯水容量 (千m <sup>3</sup> )	洪水調節容量		洪水調節可能容量		水害対策に 使える容量	基準 降雨量 (mm)
		容量 (千m <sup>3</sup> )	有効貯水 容量に 対する割合	容量 (千m <sup>3</sup> )	有効貯水 容量に 対する割合	割合	
○小河内	185,400	0	0.0%	35,583	19.2%	19.2%	450
○白丸調整池	300	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	450
合計	185,700	0	0.0%	35,583	19.2%	19.2%	-

※●: 多目的ダム、○: 利水ダム

### ○水害対策に使える容量(2ダム)

締結前0% ⇨ 締結後19.2%

(約3,600万m<sup>3</sup>の増加)※

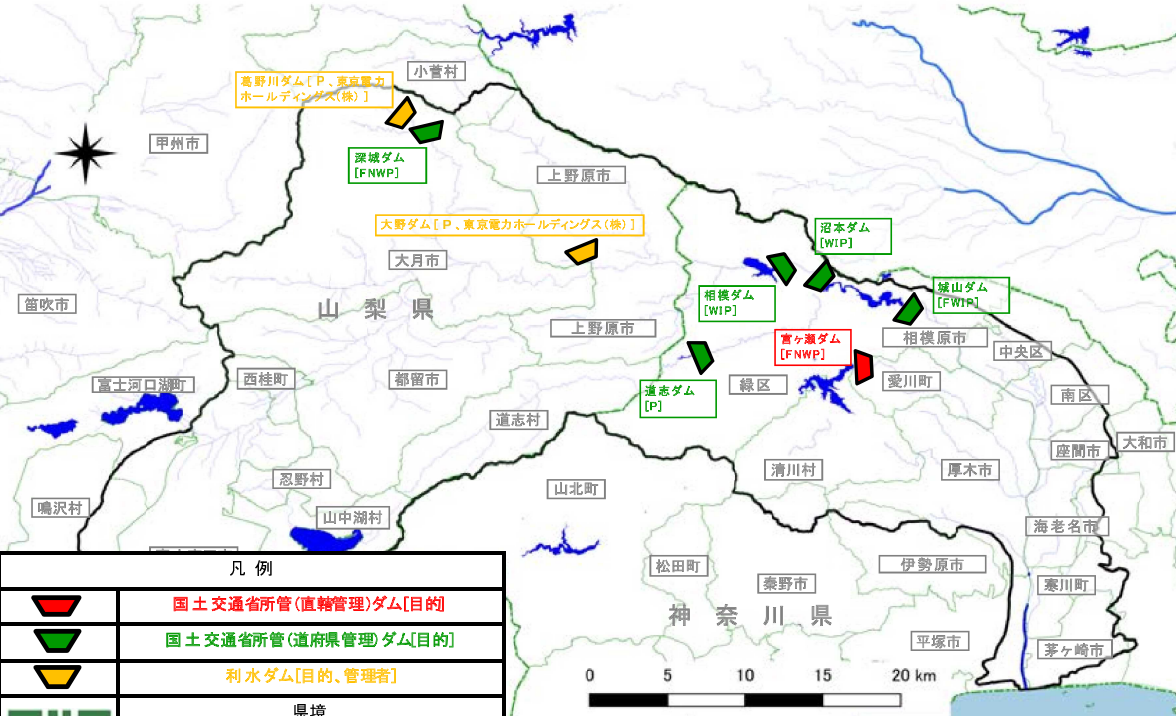
※容量としてはハッ場ダム0.4個分に相当

# 相模川水系の治水協定締結について

- 5月28日(木)に治水協定を締結済み
- 相模川水系では、水害対策のために使える容量の割合がそれまでの25.5%から、締結後に53.7%へと向上

既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針に基づく相模川水系 協議会  
【構成員】

- 河川管理者
  - ・国土交通省関東地方整備局河川部
  - ・国土交通省関東地方整備局京浜河川事務所
  - ・神奈川県県土整備局河川下水道部河川課
  - ・山梨県県土整備部治水課
- ダム管理者
  - ・国土交通省関東地方整備局相模川水系広域ダム管理事務所(宮ヶ瀬ダム)
  - ・山梨県県土整備部治水課(深城ダム)
  - ・神奈川県県土整備局河川下水道部城山ダム管理事務所(城山ダム)
  - ・神奈川県企業庁相模川水系ダム管理事務所(相模ダム、沼本ダム、道志ダム)
  - ・東京電力HD(株)リニューアブルパワーカンパニー(大野ダム、葛野川ダム)
- 関係利水者
  - ・神奈川県内広域水道企業団、東部地域広域水道企業団
  - ・山梨県企業局
  - ・横浜市、川崎市、横須賀市



ダム名	有効貯水容量 (千m3)	洪水調節容量		洪水調節可能容量		水害対策に使える容量 (千m3)	基準降雨量 (mm)
		容量 (千m3)	有効貯水容量に対する割合	容量 (千m3)	有効貯水容量に対する割合		
●宮ヶ瀬	183,000	45,000	24.6%	25,920	14.2%	38.8%	450
●城山	54,700	27,500	50.3%	19,912	36.4%	86.7%	480
●深城	5,140	4,390	85.4%	750	14.6%	100.0%	480
○相模	48,200	0	0.0%	27,992	58.1%	58.1%	480
○沼本	1,534	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	480
○道志	616	0	0.0%	392	63.6%	63.6%	480
○大野	467	0	0.0%	566	121.2%	121.2%	480
○葛野川	8,300	0	0.0%	9,840	118.6%	118.6%	480
合計	301,957	76,890	25.5%	85,372	28.3%	53.7%	

※●: 多目的ダム、○: 利水ダム

○水害対策に使える容量(8ダム)  
締結前25.5% ⇨ 締結後53.7%  
(約8,500万m3の増加)※

(参考)神奈川県は、県管理の城山ダムについて、更なる取組として、大雨の際に、下流に流せる量の範囲でダムの放流量を増やし、ダムが満水になるまでの時間を引き延ばそうとする操作を実施。

※容量としては八ッ場ダム1.0個分に相当

F:治水 N:流水の正常な機能の維持 A:農業用水 W:水道用水 I:工業用水 P:発電

# 天竜川水系の治水協定締結について

- 5月29日(金)に治水協定を締結済み
- 天竜川水系では、水害対策のために使える容量の割合がそれまでの21.1%から、締結後に81.2%へと向上

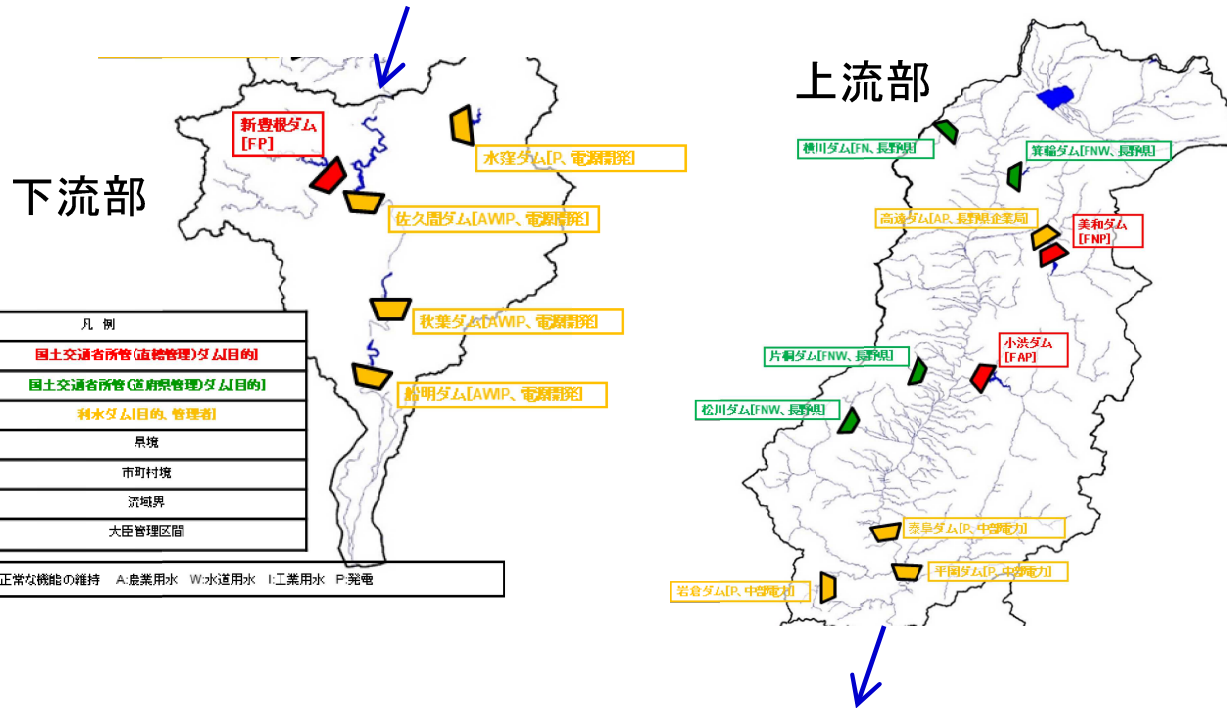
既存ダムの洪水調節機能の強化に向けた基本方針に基づく天竜川水系(上流・下流)協議会

【構成員】(上流)

- 河川管理者
  - ・国土交通省中部地方整備局天竜川上流河川事務所
  - ・長野県建設部河川課
- ダム管理者
  - ・国土交通省中部地方整備局天竜川ダム統管理事務所(美和ダム、小渋ダム)
  - ・長野県建設部河川課(松川ダム、片桐ダム、横川ダム、箕輪ダム)
  - ・長野県企業局電気事業課(高遠ダム)
  - ・中部電力(株)再生可能エネルギーカンパニー飯田水力センター(平岡ダム、泰阜ダム、岩倉ダム)
- 関係利水者
  - ・長野県農政部農地整備課、長野県上伊那広域水道用水企業団、三峯川沿岸土地改良区連合、上伊那郡河南土地改良区、長野県小渋川土地改良区、沢川水利運営委員会
  - ・飯田市、松川町

【構成員】(下流)

- 河川管理者
  - ・国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所
  - ・静岡県交通基盤部河川砂防局河川企画課
  - ・愛知県建設局河川課
- ダム管理者
  - ・国土交通省中部地方整備局浜松河川国道事務所(新豊根ダム)
  - ・電源開発(株)中部支店(秋葉ダム、佐久間ダム、水窪ダム、船明ダム)
- 関係利水者
  - ・農林水産省関東農政局西関東土地改良調査管理事務所、静岡県企業局水道企画課



ダム名	有効貯水容量 (千m3)	洪水調節容量		洪水調節可能容量		水害対策に使える容量 割合	基準降雨量 (mm)
		容量 (千m3)	有効貯水容量に対する割合	容量 (千m3)	有効貯水容量に対する割合		
●美和	20,745	16,200	78.1%	2,189	10.6%	88.6%	330
●小渋	37,100	35,300	95.1%	809	2.2%	97.3%	330
●新豊根	40,400	10,500	26.0%	38,178	94.5%	120.5%	278
●松川	5,400	3,300	61.1%	2,548	47.2%	108.3%	246
●片桐	1,310	890	67.9%	420	32.1%	100.0%	260
●横川	1,570	1,420	90.4%	258	16.4%	106.9%	175
●箕輪	8,300	4,500	54.2%	1,296	15.6%	69.8%	200
○平岡	4,828	0	0.0%	5,577	115.5%	115.5%	232
○泰阜	1,553	0	0.0%	1,925	124.0%	124.0%	232
○高遠	500	0	0.0%	0	0.0%	0.0%	330
○岩倉	300	0	0.0%	119	39.7%	39.7%	232
○秋葉	6,672	0	0.0%	11,800	176.9%	176.9%	278
○佐久間	187,644	0	0.0%	116,000	61.8%	61.8%	278
○水窪	21,651	0	0.0%	11,500	53.1%	53.1%	278
○船明	3,600	0	0.0%	12,700	352.8%	352.8%	278
合計	341,574	72,110	21.1%	205,319	60.1%	81.2%	-

○水害対策に使える容量(15ダム) 締結前21.1% ⇨ 締結後81.2%へ (約20,500万m3の増加)※

※容量としては八ッ場ダム2.3個分に相当

※●:多目的ダム、○:利水ダム

# 大和川水系の治水協定締結について

- 5月29日(金)に治水協定を締結済み
- 大和川水系では、水害対策のために使える容量の割合がそれまでの29.7%から、締結後に63.2%へと向上

## 大和川水系 既存ダムの洪水調節機能強化に向けた協議の場【構成員】

### ○河川管理者

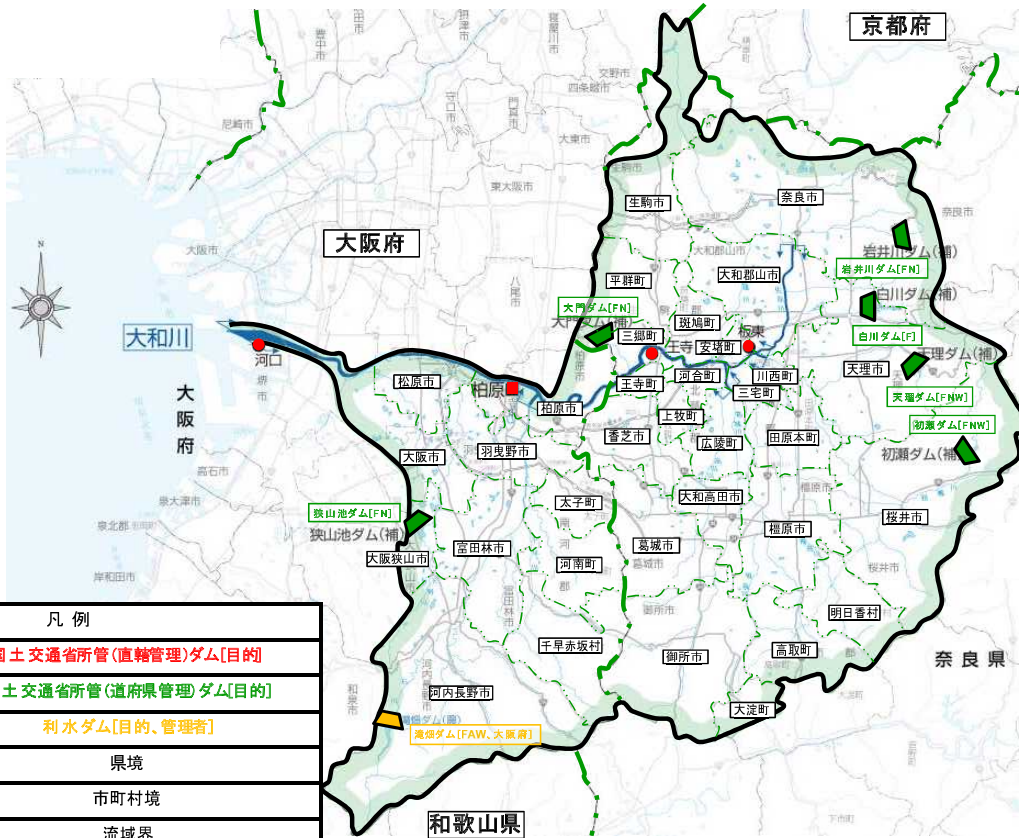
- ・国土交通省近畿地方整備局河川部
- ・国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所
- ・大阪府都市整備部河川室
- ・奈良県県土マネジメント部河川整備課

### ○ダム管理者

- ・大阪府都市整備部河川室・農水室(狭山池ダム)
- ・奈良県県土マネジメント部河川整備課(天理ダム、初瀬ダム、白川ダム、岩井川ダム、大門ダム)
- ・大阪府環境農林水産部(滝畑ダム)

### ○関係利水者

- ・河内長野市
- ・富田林市
- ・天理市
- ・桜井市



ダム名	有効貯水容量 (千m3)	洪水調節容量		洪水調節可能容量		水害対策に使える容量	基準降雨量 (mm)
		容量 (千m3)	有効貯水容量に対する割合	容量 (千m3)	有効貯水容量に対する割合		
●狭山池	2,800	1,000	35.7%	460	16.4%	52.1%	242
●天理	2,250	1,300	57.8%	1,140	50.7%	108.4%	176
●初瀬	3,740	2,390	63.9%	540	14.4%	78.3%	209
●白川	1,360	500	36.8%	550	40.4%	77.2%	148
●岩井川	690	430	62.3%	190	27.5%	89.9%	215
●大門	148	30	20.3%	70	47.3%	67.6%	194
○滝畑	8,018	0	0.0%	3,410	42.5%	42.5%	289
合計	19,006	5,650	29.7%	6,360	33.5%	63.2%	-

※●: 多目的ダム、○: 利水ダム

### ○水害対策に使える容量(7ダム)

締結前29.7% ⇨ 締結後63.2%  
(約640万m3の増加)※

※容量としては八ッ場ダム0.1個分に相当